

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

令和元年度福島県自治体病院学会が昨年11月9日に、田村市船引町の「迎賓館辰巳屋」で行われました。この学会は全国自治体病院協議会福島県支部ならびに福島県自治体病院協議会が主催で行うもので、県内にある26の自治体病院が輪番で担当し、今年度は公立小野町地方総合病院が幹事病院として行われました。当日はスタッフを含め228人の参加のもと、研究発表や特別公演が行われました。

渡辺直彦病院長が「社会問題である『地域における過疎高齢化』への解決策を見出す機会とするため、当学会がその一助となることを望む」とのあいさつを行い、来賓として県保健福祉部高野武彦次長からごあいさつをいただき、その後各発表会場に移動しました。

当院からは、医学部門で「病院主催の地域包括ケア・多職種ミーティングについて」、看護部門で「退院時アンケートの作成と試行～患者満足度の向上と職員をやる気にさせる調査を目指して～」、さらに薬剤部門で「地域医療における休日夜間救急の現状と課題」をテーマに発表を行いました。

また東京農業大学名誉教授・小泉武夫先生から「健

康と長寿のための食事学」と題して特別講演をいただきました。小泉先生からは「医食同源・薬食同源」「野菜・発酵食品の重要性」などについて熱のこもった講演をいただき、参加した関係者は熱心に先生のお話を傾けていました。



福島県自治体病院学会の様子

～夜間救急外来診療のお知らせ～

平日の夜間救急外来診療を行っています。受診の前に電話(72-3181)で症状をお伝えください。
受付時間：平日 午後5時から午後8時30分まで

地域包括センターからのお知らせ ～認知症サポーター養成講座～

「認知症サポーター養成講座」が昨年11月26日に役場分庁舎講堂で行われ、小野町内在住の方、小野町内に勤務している方15人の参加がありました。

当包括支援センター職員がスライドやテキストを用い認知症に関する基礎的な知識や対応方法について説明を行った後、レクリエーションや簡単な認知症予防体操、参加者同士が話し合う場を設けました。その中で認知症に関するイメージや認知症の方が住みやすい地域にしていくためにはどんなことができるかなど活発な意見交換が行われました。

養成講座終了後には認知症サポーターとしての証「オレンジリング」を配布しました。参加した方からは「認知症は身近な病気」「またこのような講座を開



催してほしい」「今後、自宅や職場で対応方法について生かしていきたい」との意見が挙げられました。

地域包括支援センターでは地域住民や企業、学校対象に「認知症サポーター養成講座」を行っています。

●小野町地域包括支援センター ☎72-2128

■休日当番医

月	日	当番医	電話番号
1	19⑩	清水医院(田村市船引町)	82-3535
	26⑩	雷クリニック(三春町)	62-6333
2	2⑩	白岩医院(田村市常葉町)	77-2036
	9⑩	橋本医院(小野町)	72-3711
	11⑩	中央通りクリニックやない(田村市船引町)	81-2662
	16⑩	せんざき医院(三春町)	61-2777

◆夜間診療所および休日当番医で受診する場合は必ず事前に電話確認のうえ受診してください。

◆詳しくは「ふくしま医療情報ネット」の「休日当番医をさがす」をご覧ください。

<http://www.ftmis.pref.fukushima.lg.jp/>

◆こども救急電話相談

受付時間：午後7時から翌朝午前8時まで
(年中無休)

☎ 024-521-3790 (一般ダイヤル回線)、
8000 (短縮ダイヤル)